特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 178 号] 令和元年 10 月 11 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

強風、引潮で上陸地点変更

10 月 9 日(水)、定例活動で木村、篠岡、井坂、荻原、渡邉、大久保、矢部、仲西、遠山の 9 名が逆風と引き潮の逆流の中、蒲生船着場を目指しましたが、安全を考慮して松並木北端へ上陸し休憩しました。この日は、ゴミ袋 2 袋分の成果でした。

自主防災の練習

左岸船着場へもどり、矢部、渡邉両氏が 2 馬力エンジン 3m級救助艇の操船練習をしました。矢部氏にとっては、来るべき利根川決壊に備えて草加市における水難救助訓練について、そして渡邉氏にとっては、足立区の水難救助訓練になりました。今後、草加市と足立区は連携して洪水被害に対する危機管理を共有していきたいと考えています。足立区の遠山氏も久しぶりに参加していただき、3m級救助艇の乗船体験をしていただきました。

伝右川の自転車とエアコン

FSC サルベージ協会合同活動

10 月 10 日(木)10:30～、平日の特別活動として、伝右川サルベージを実施しました。木村、井坂の 2 名と FSC サルベージ協会の七里順量会長等 4 名の計 6 名で自転車 2 台、プラズマテレビ 1 台、バイク部品 1 個、エアコン室内機 1 台を引き上げました。始めは、神明排水機場堀川産業側まで行き、カヌーで乗り越えようとしましたが、水位が低く断念しました。再度、車にカヌーを積んで手代堰跡付近へ移送し、そこから水面に降ろし活動を始めました。長年にわたりヘドロに埋まっていた自転車やプラズマテレビは人の手では引き上げられず、自動車で少しずつ引っ張り、やっとの思いで引き上げることが出来ました。当初 9 月 25 日(水)を活動予定にしていましたが、天候や仕事の都合で延び延びになっていましたが、やっと引き揚げ活動が実現しました。みなさん大変お疲れ様でした。

FSC サルベージ協会は、平成 13 年の活動開始から 17 年目(平成 29 年)で累計引上げ台数 1,000 台を数え、その活動が評価され平成 29 年度彩の国埼玉環境大賞を受賞しました。草加パドラーズとは、昨年の平成 30 年度から共同活動が始まりました。水上からの援助の有効性が分かってきたからです。